

聖学院大学『進学・修学支援制度』申請書  
 聖学院大学 学長殿

(記入例)

第1志望	政治経済学部	政治経済学科	氏名	聖学院 太郎		
第2志望	(*一般入試A日程、B日程、C日程、D日程受験者のみ記入)		生年月日	西暦	2001年	5月 1日
希望する入学時支援 (該当するものにマルをつける)			1. 入学金免除	<input checked="" type="checkbox"/> 希望する	<input type="checkbox"/> 希望しない	
			2. 学費月払い制度の適用	<input type="checkbox"/> 希望する	<input checked="" type="checkbox"/> 希望しない	
受験番号	(*未記入のこと)	高校名	〇〇〇高等学校			
日本学生支援機構奨学金第一種奨学金予約 有無 (該当するものにマルをつける)			<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無	進学後予定	
日本学生支援機構奨学金第二種奨学金予約 有無 (該当するものにマルをつける)			<input type="checkbox"/> 有	<input checked="" type="checkbox"/> 無	進学後予定	
日本学生支援機構給付型奨学金予約 有無 (該当するものにマルをつける) *給付型奨学金を予約又は進学後申込予定の受験生は本制度に申し込むことはできません			<input type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無	進学後予定	
本人現住所 〒 _____			TEL _____			
保証人住所 〒 _____			TEL _____			
申 請 理 由	私の家族構成は、父親、母親、私立大学に通う兄、公立中学に通う妹の5人家族です。父親の					
	2018年度の給与所得は添付の所得証明書の通り〇〇〇万円でしたが、不況の影響で添付の離職					
	票の通り2ヶ月前に会社からリストラされてしまい、現在も求職中です。更に、母親は添付の					
	診断書の通りに腰の状態が悪く、現在は働くことができません。					
	この家計の状況を少しでも良くするため、兄は日本学生支援機構に奨学金の貸与を申し込み、					
	その奨学金によって学費を支払っています。私は、聖学院大学の政治経済学部で金融学を学び					
	たいと考えて受験勉強に励んでいましたが、学費に関してとても心配をしていました。しかし、					
この聖学院大学進学・修学支援制度は入学金が免除になる可能性があり、両親の経済的負担を						
減らすことができると考えて申請いたします。貴学に合格が叶えば、日本学生支援機構奨学金の						
予約候補者から奨学生になり、勉強に支障がないようにアルバイトをしながら、学生生活を						
送りたいと考えています。どうぞよろしく願いいたします。						
証明する添付資料：父親、母親 2018年度所得証明 (原本)・父親の離職票(コピー) 母親の診断書(コピー) 第一種奨学金選考結果通知 (コピー)						
以上の通り、記載事項に相違ありません。						
2019年 10月 3日						
			氏 名	聖学院 太郎	㊟	
			保 証 人	聖学院 学	㊟	

【注意事項】

1. 聖学院大学「進学・修学支援制度」は全ての入試日程(留学生入試・編入学試験を除く)が対象です。
2. 本申請書の記入にあたっては、保証人の署名以外は受験生が記入してください。
3. 本申請書は入学願書等出願に必要な書類と共に願書提出期限内にお送りください。申請書のみでの送付はできません。期限後の提出は受け付けませんので、ご注意ください。
4. 申請書の「申請理由」欄には、現在の経済的状況、申請する理由を可能な限り詳しく記述してください。
5. 日本学生支援機構奨学金の予約者は、必ず予約の選考結果通知のコピーを同封してください。
6. **ご父母の最新の所得証明書(市区町村役場が発行。平成30年中の所得)を添付してください。**
7. お送りいただいた個人情報は入学金免除申請の用途以外には使用いたしません。また、情報の第三者への開示や提供、提出いただいた書類の返却等は一切いたしません。
8. 虚偽の申請が確認された場合には制度の適用を取り消すことがあります。
9. 入学金免除金は、進学修学支援奨学金として入学後に給付します。
10. 日本学生支援機構給付型奨学金の対象者は本制度の利用はできません。